

令和6年度 諮問委員会「答申発表会」を開催

～ のべ273名の役職員が聴講 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は2月5日（水）と6日（木）、諮問委員会の「答申発表会」を本店2階大ホールで開催しました。

本委員会は、業務への新たな取り組みや経営改善について自由闊達に議論し提言することを目的に、昭和58年に「各種研究会」としてスタートしました。昨年度までにのべ1,433名の役職員が210のテーマに取り組み、各年度の事業計画に反映してきました。

今年度も、経営者意識を持った30名の職員が6つのテーマについて約半年間議論し、提言をまとめました。発表会では、各委員会から発表の後、聴講した職員から多くの質問が投げかけられ、活発な意見交換が行われました。また、その模様は金庫内においてストーリーミング配信で共有し、職員の自己啓発として活用します。

本委員会では意見や提言がその後の経営に取り入れられるなど、職員が金庫の将来について深く考えることで大いに成長できる場でもあり、より一層地域に貢献できる職員を育成すべく今後も継続実施してまいります。

記

1. 開催日 令和7年2月5日（水）、6日（木）
2. 場所 本店2階大ホール
3. 参加者数 役職員 のべ 273名
4. テーマ
 - (1) 当金庫独自の強みを生かした新しいお取引先支援の手法と仕組みづくり
 - (2) 金庫、お取引先の生成AI活用の可能性とサイバーセキュリティ対策
 - (3) 環境問題に配慮した金融商品開発と他業態との連携の仕組みづくり
 - (4) デジタルネイティブ世代との顧客接点と金融サービス
 - (5) 女性のキャリア継続、自己実現可能な職場づくりのための制度設計
 - (6) お取引先、職員に愛される信用金庫のデザインとコーポレートブランディング戦略



発表する委員会メンバー

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

